

# 2026年度 展示スケジュール

企画展示室

企画展

## 秋田の大地と成り立ち



秋田県の大地がどのような地質活動で形づくられてきたかを、各時代の岩石・化石・鉱物を通して紹介します。実物標本の展示を通じて地質の世界を身近に感じ、ジオパークなど地質を学べる場所にも関心を広げていただける展示です。

4月25日(土)  
～6月28日(日)

特別展



話題の展覧会が東北初開催。絶滅した生物の化石や標本を展示し、絶滅した理由を紹介します。「優しすぎて絶滅」、「筋肉ムキムキで絶滅」など、驚くべき理由で姿を消した生き物たちは、生態系や地球環境の不思議を物語ってくれます。

7月11日(土)～8月30日(日)

企画展

## シン・秋田画人伝 補遺と訂正のジレンマ

秋田の美術を網羅した井上隆明著『秋田書画人伝』は刊行から半世紀が経ちました。その後も県内の博物館、美術館、関係機関の学芸員によって画人たちの調査研究が続けられています。展覧会ではその研究成果を照合し、『秋田書画人伝』の画人たちの事績について補遺と訂正を試み、作品とともに紹介いたします。



9月19日(土)～11月29日(日)

企画展

## アスファルト 土瀝青コネクション — 縄文の知恵 × 明治の知識人 —

縄文人が接着剤として使っていたのは、土瀝青（天然アスファルト）ではないか——。明治31年、この事実を初めて指摘したのは、秋田の人でした。何故彼は、土器や石器にこびり付いた黒いモノの正体を見抜けたのか？その後の考古学研究で見えてきた縄文のアスファルト利用の実態とは？土瀝青を鍵に、ヒト・モノ・地域の繋がりを探ります。



12月19日(土)～2027年4月4日(日)

菅江真澄資料センター企画コーナー展

秋田の先覚記念室企画コーナー展

ふるさとまつり広場

● 子どもの成長を願う～天神人形～  
4月23日(木)～6月16日(火)

● 秋田藩と真澄  
5月23日(土)～7月12日(日)

● わけあって絶滅しました。展 関連展示  
7月11日(土)～8月30日(日)

● これまでとこれから  
—菅江真澄資料センター開設30周年記念展—  
7月25日(土)～9月27日(日)

● 災いを防ぐ～ショウキサマ～  
10月1日(木)～11月17日(火)

● 後藤宙外と払田柵跡  
10月7日(水)～12月6日(日)

● The Scientific Eye -真澄の科学的視点-  
10月17日(土)～12月13日(日)

● 新年に向けて～縁起物～  
12月3日(木)～2027年2月2日(火)

● 春の訪れ～ひな人形・押絵～  
2月25日(木)～4月6日(火)